

優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

まほろば

ふれあいネットワーク

社協広報

第30号

寄稿 施設紹介 グループホーム「なのはな」

— p 5 掲載 —



「安全見回り隊」を結成!! ～子どもの安全を考えて～

親育ちの会（代表中村 健さん）では、この程「安全見回り隊」を結成し、会員の車両等にそれぞれが「パトロール中」のステッカーを貼り、地域の子どもの通園・通学時などの安全を見守るための活動を開始しました。同親育ちの会は、子どもを取り巻く環境・家庭・学校・地域社会が抱える問題について親自身が自ら学び・育つ場として集まったボランティアグループです。同会では、只今、「安全見回り隊」の活動に参加いただける登録者を募集しています。

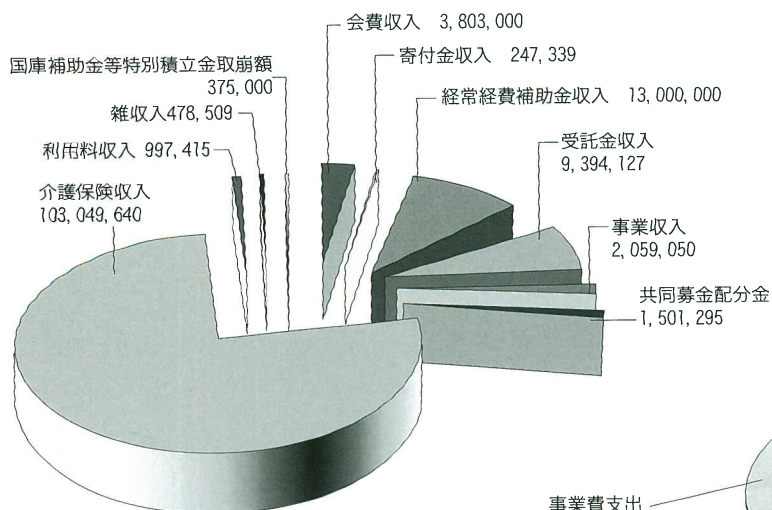
*問い合わせ先 [e-mail] oyasodachi@yahoo.co.jp ☎98-3126 (中村まで) [写真] いちいの里/駐車場

平成16年度 山形村社会福祉協議会一般会計決算概要報告

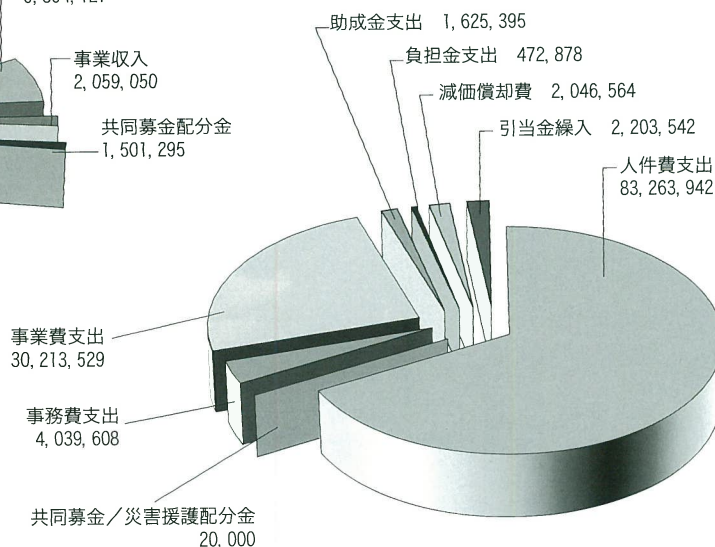
5月31日、保健福祉センターいちいの里において、山形村社会福祉協議会評議員会(平成17年第2回)が開催されました。会議では、平成16年度の事業報告並びに一般会計決算報告等について審議され、それぞれ承認されました。平成16年度一般会計決算では、主な収入実績として、介護保険収入が600万円程度の減。収入全体としても前年度より減となりました。支出実績としては、人件費の増などから500万円程度の増となりました。以下、山形村社会福祉協議会の一般会計決算の概要を報告します。

平成16年度山形村社会福祉協議会一般会計事業活動収支の部概要

事業活動収入合計 134,905,375円



事業活動支出合計 123,885,458円



※当期活動収支差額の一部は福祉活動基金等に積立てられることとなりました。

※収支科目の数値は、平成16年度事業活動収支計算書より抜粋

【付記】 山形村社会福祉協議会々員の会費収入を財源とする支出内容

- ◆福祉講座(ガイドヘルパー養成講座開催費等)
- ◆福祉啓発費(広報発行、健康と福祉のつどい開催費等)
- ◆福祉団体等助成金(地域福祉団体等助成金・社会福祉協力校事業助成金)
- ◆慰霊祭の斎行
- ◆地域福祉活動費(いきいきサロン、ポケットハイキング、在宅介護者リフレッシュ事業費他)
- ◆ボランティア活動振興費(災害救援活動諸費・用具整備費他)
- ◆障害者ホームヘルプ事業
- ◆障害者自立生活支援事業(タイムケアサービス事業)

◇平成16年度 助成金交付事業の概要

山形村社会福祉協議会の会費財源または共同募金配分金を財源にして、下記の団体に対し助成金を配分しましたので、以下に報告します。

地域福祉団体等助成金

(財源 社協会費)

○山形村身体障害者福祉協会	助成金額 162,000円
○知的障害者育成会	助成金額 99,000円
○山形村遺族会	助成金額 90,000円
○山形村連合長寿会	助成金額 80,000円
○山形村郷友会	助成金額 30,000円



▲しゃぼん玉塾／パン作り活動の備品整備

指定地域福祉活動支援事業助成金

(財源 共同募金)

【一般指定活動】

○山形村子ども会育成会	助成金額 25,000円
○人形劇サークルてぶくろ	助成金額 25,000円
○山形村ゲートボール協会	助成金額 25,000円
○山形村陶芸グループボランティア部	助成金額 25,000円
○やまのこ共同保育園	助成金額 25,000円
○かたくりの会	助成金額 25,000円
○クレヨンママ	助成金額 25,000円
○山形村青少年交流事業実行委員会	助成金額 25,000円
○「共に生きる」を考える会てまり	助成金額 25,000円
○山形村食生活改善推進協議会	助成金額 25,000円
○山形小学校PTA	助成金額 25,000円
○平和の礎(Ⅱ)発刊編集委員会	助成金額 25,000円
○ハッピーズ	助成金額 25,000円
○ボランティア子供英語サークル「ふあんふおうきつず」	助成金額 25,000円
○グループホーム 杉のこ	助成金額 20,800円

【特別指定活動】

○しゃぼん玉塾	助成金額 623,595円
○NPO法人 和楽会	助成金額 70,000円



▲杉のこ／ファックス付電話を購入

地域福祉団体等助成金

(財源 社協会費)

○鉢盛中学校	助成金額 50,000円
○山形小学校	助成金額 50,000円

山形村社会福祉協議会理事・監事・評議員名簿

平成17年6月1日現在 (敬称略)

理事

清沢 實 視 (会 長)
 逢澤 佳 丸 (副 会 長)
 三 枝 一 (副 会 長)
 福澤 倫 治 (副 会 長)
 山口 隆 也 (常務理事)
 原 宏 見
 北澤 千 和
 小口 泰
 上條 孝 行
 塩原 信 次

竹野 園 磨
 宮 沢 義 典
 相渡 さ ゆ り

監 事

竹野 入 貞 夫
 上 條 文 夫

評議員

村瀬 章 夫
 竹野 入 恒 夫
 唐 沢 完 治
 笹 川 武 清
 熊 谷 久 子
 塩 原 洋
 小 林 嘉 宣
 宮 本 美 鶴
 籠 田 豊 里
 住 吉 す み

前 田 愛 子
 森 井 英 子
 神 通 川 長 子
 宮 沢 勲
 土 田 朋 子
 横 水 美 佐 子
 松 岡 昇
 大 久 保 美 知 子
 堤 洋 子
 上 條 恵 津 子

塩 原 眞
 野 村 俊 介
 上 條 勝
 籠 田 次 郎
 平 沢 恒 雄
 塩 原 静 雄
 百 瀬 泉
 永 田 博 秋
 上 條 智 佐 雄

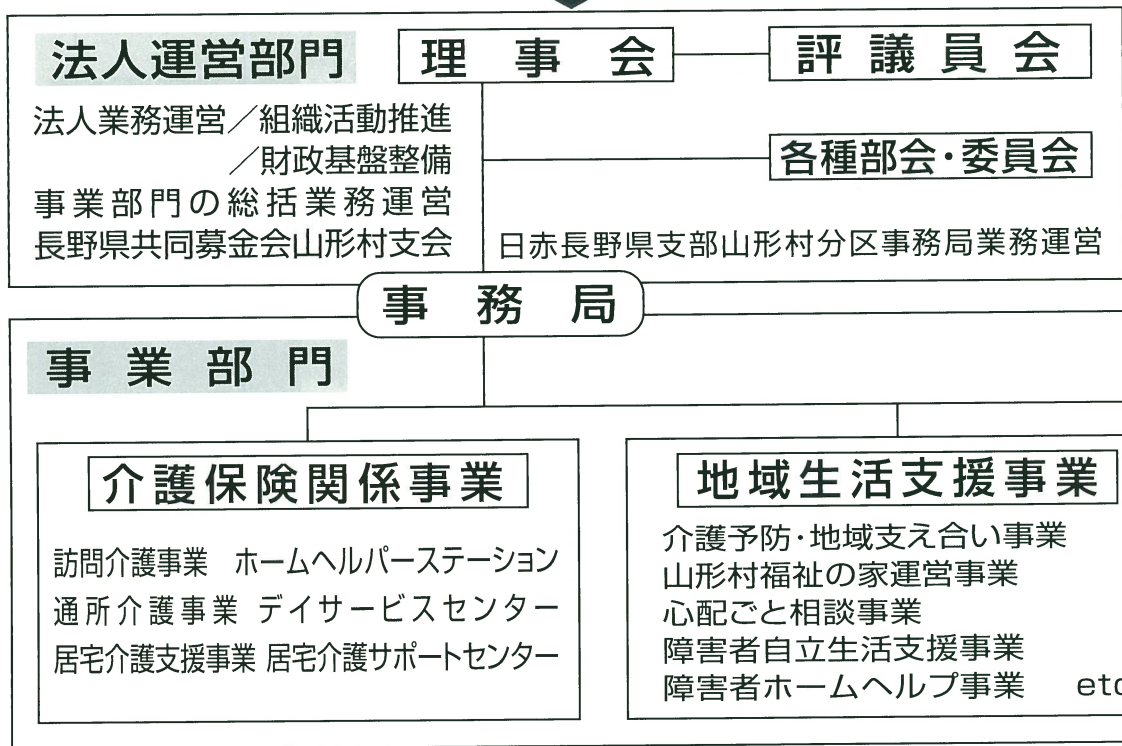
みんなで創ろう!

福祉づくりは地域づくり/拡げよう!ぽぼねっとの輪

社会福祉法人 山形

私たちは、地域の支え合い・助け合い活動を実

地域住民 / 機関・団体等



住民ニーズに基づく住民

* 社会福祉協議会は、地域の住民と機関・団
豊かな福祉コミュニティを創造するため、

福祉のコミュニティ

町社会福祉協議会

、豊かな福祉コミュニティの創造につとめます。

社会福祉協議会々員)

住民参加部門(地域福祉活動・ボランティアセンター)

住民主体の地域福祉活動の振興／地域組織化

住民、地域組織・団体、企業等、 ボランティア・NPO

社会福祉事業関係者

保健・医療・福祉その他社会福祉と関連する機関

地域福祉推進事業

福祉講座・啓発事業の企画実施 地域福祉活動計画策定への取り組み

社会福祉事業関係者・関連する機関との連携、協働事業の実施

住民活動・団体機関事業等の支援(助成金交付) サロン活動の振興等

希望の旅・介護者リフレッシュ事業等の企画実施 ボランティアセンターの運営

共同募金運動・日赤社資収納運動の推進 援護・激励事業の推進 etc

主体の地域福祉の推進

企業等の会員から構成される民間団体です。

力をあげて取り組んでいます。

寄稿 施設紹介

山形村で暮らす グループホーム「なのはな」

～ 地域の皆様、よろしくお願い致します。～

高齢者グループホーム「なのはな」は、山形村役場、地域の皆様方のご理解とご支援により、今年4月に開設となりました。現在、9名の利用者（男性2名、女性7名）が「なのはな」で暮らしています。年齢は平均80歳前後の方を中心に、同じ時代を共に生きてきた生活者として交流を深めています。軽度の認知症の生活支援として、日中は職員が2～3名、夜間は1名で対応しています。



▲中原町地区に開設されたグループホーム「なのはな」

<生活の基本>

○毎日の“普通の生活”を大切にしていく。

（利用者は生活者、ホームは生活の場）

○個人ケアの重視。（ひとり一人の価値観、生活史などを大切にする。）

○ひとり一人の可能性を引き出す。

<連携作りとして>

○医療：隣接する山形協立診療所に協力依頼。（月～金：緊急時の往診可能）

：歯科センターに協力依頼。（定期的往診）

○家族：時々、家族も生活の場の中に入ってもらい連絡を常に取り合う。（情報の共有）

○その他：友の会、隣接との交流。

少人数制のグループホームは家庭的で落ち着いた雰囲気の中で9名の利用者が日々の暮らしを一緒に育んでいきます。

ごく普通に生活の中で必要なことをやっていく毎日。朝起きて、顔を洗い、リビングに来て、朝食の準備は手伝える人がやり、片付けは声掛け合い、洗い物は「今日は私がやりましょう」と自発的にやる姿も。茶碗拭きはテーブルのところで数名の方が待機して頼むわけでもなく自発的に拭いてくれる。朝

はこんなふうやってくる。食事が終わると掃除が始まる。みんなで分担、自分のペースで仕事を進める。終わると誰彼と関係なくサンルームに人が集まり、井戸端会議が始まる。

繰り返す毎日の中で自然に馴染みの関係ができ、和みの空間が生まれています。



▲利用者による座布団カバー作りはプロ並み！

高齢者グループホーム「なのはな」

（社会福祉法人 協立福祉協会）

電話 0263-97-1066 Fax 0263-97-1067

グループデイホーム福祉の家「ほのぼの」

村が行っている老人グループデイホーム事業を平成17年4月から社会福祉協議会が受託運営することになりました。ここでは、生活行動に見守りが必要な高齢者の方が、住み慣れた地域で、いつまでもその人らしく、安心して、いきいきと過ごせるよう支援し、健全な生活習慣を介護者と一緒に創造することを目指しています。現在、8名の方が利用されており、ここで楽しい時間をゆっくり過ごしていただいています。

＜開設日・利用時間＞

○毎週 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
*土・日・祝祭日も希望があればホリデーサービスとして利用できます。



▲平成17年用年賀寄附金配分事業により配備させていただいた新車両を使って、安全で快適な送迎も行っています。

まほろばカレッジ／移送サービス運転者研修会の開催

波田町・朝日村・山形村の三ヶ町村の社会福祉協議会で作るちくまネットワーク主催（協力 長野県ハンディキャブ連絡会）では、6月・7月の二回に分けて移送サービス運転者研修会を開催しています。移送サービスとは、一般の公共交通機関を利用するのが困難な障害者・高齢者などの交通手段として実施される福祉サービスの一つです。研修会では、自動車教習所さながらの運転技術講習や緊急時の対応など専門的な指導が行われ、受講された皆さんも真剣な様子で取り組んでいました。サービスを利用される方が安心して気軽に出掛けることができる環境づくりの取り組みの一つとして研修の成果が期待されます。



▲本格的な福祉車両訓練の実施

於 山形村保健福祉センター



▲消防士による普通救命講習も併設

於 山形村保健福祉センター

平成17年度 山形村社会福祉協議会普通会員会費の納入のお願い

山形村社会福祉協議会では、住民（会員）の皆さんより平成17年度会費の納入をいただき、それを財源にして下記の地域福祉事業（活動）を計画いたしました。本年度もご協力下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

普通会員会費予算額（目標額） 2,850,000円
 会員会費予算総額（目標額） 3,560,000円

内訳	特別会員会費	500,000円（1口 10,000円）
	賛助会員会費	210,000円（1口 3,000円）
	普通会員会費	2,850,000円（1世帯 1,500円）

* 普通（世帯）会員会費の取りまとめ及び納入 7月1日～7月29日の間

連絡班ごとに会費の取りまとめをお願いし、納入いただきます。ご協力をお願いします。

会員会費による地域福祉事業（活動）／平成17年度計画

<p>■ 福祉啓発活動費 463,000円</p> <p><input type="checkbox"/> 移送サービス運転者研修会・ボランティア学習会・公開福祉講座の開催</p> <p><input type="checkbox"/> 広報誌の発行、その他情報提供</p> <p><input type="checkbox"/> 健康と福祉のつどいの開催 他</p>	<p>■ 地域福祉活動費 1,438,000円</p> <p><input type="checkbox"/> 地域福祉活動運営費、希望の旅他ふれあい交流事業費</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉協力校・地域福祉団体等助成金、いきいきサロン開催費</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティアセンター運営費</p> <p><input type="checkbox"/> その他地域福祉活動推進費</p>
<p>■ 援護・激励事業費 405,000円</p> <p><input type="checkbox"/> 戦没者・海外移住物故者・消防殉職者慰霊祭の斎行</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉資金貸付事業</p> <p><input type="checkbox"/> 災害見舞・援護活動の実施 他</p>	<p>■ 地域生活支援事業費 1,254,000円</p> <p><input type="checkbox"/> 介護予防・地域支え合い事業の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 障害者施設移送サービスの実施</p> <p><input type="checkbox"/> 障害者ホームヘルプサービスの実施</p> <p><input type="checkbox"/> タイムケアサービスの実施</p>

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会（事務局）山形村保健福祉センターいちいの里内 ☎97-2102

まほろば（社協広報／第30号） 平成17年6月23日発行

- 発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会**（山形村保健福祉センターいちいの里内）
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村 4520 番地の 1 TEL 0263 (97) 2102 FAX 0263 (97) 2101
- 印刷所 アサカワ印刷株式会社